

健全なパートナーシップとは？(2)

こんにちは、フリップジャパンの藤井恵嗣です。

暑い日が続きますが、皆さんお元気ですか？

今月もニュースレターを読んでくださりありがとうございます。

今回は、<健全なパートナーシップとは？(2)>として、「互いに人として尊重し合うとは、どうすることですか？」というテーマで一緒に考えたいと思います。

そこで、いつものように一つの質問をさせていただきます。

Q.あなたは「互いに人として尊重し合う」とは、どうすることだと思いますか？

「夫や妻を人として尊重するとはどうすること？どんな態度、言動をとること？」

「職場でのパートナーを人として尊重するとはどうすること？どんな態度、言動をとること？」

「友人を人として尊重するとはどうすること？どんな態度、言動をとること？」

「お子さんを人として尊重するとはどうすること？どんな態度、言動をとること？」

読み進める前にちょっと考えてみて下さい。

如何でしたか？どんなことが必要だと考えましたか？

今、皆さんが考えたことは、全て「人として尊重するために」必要なこととだろーと思しますので、これからも大切にして下さい。

先日、ある大きな組織からの理事の方々100名に向けて、ハラスメント対策のセミナーをして欲しいとの依頼を受けました。そこで改めて勉強すると、『ハラスメント(Harassment)とは、いろいろな場面での「いじめ、嫌がらせ」を言います。その種類は様々ですが、他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与えることを指します。』と定義されていました。

これは、まさに「人として尊重」していない発言、行動だと確認させられました。

そこで、私自身が学ばされたポイントは、私たちの「他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与える。」ことになっていると、今日のテーマに置き換えると、人として尊重していないことになるということです。

たとえば、夫婦関係であれ、親子関係、上司部下の関係でも、よく耳にすることは、多くの場合、「相手のためを思って〇〇しました。叱りました。指導しました。」或いは、相手を「愛しているからこそ」「期待しているからこそ」という表現です。

しかし結果は、本人の意図には関係なく、相手を人として尊重していないことになっていることがあるのです。なぜ、こんなことが起きてしまうのでしょうか？

様々な要因があると思いますが、1つ言えることは、相手の立場に立って、「相手がどう感じるか？どう思うのか？どんなニーズがあるのか？」と、相手の感情やニーズに思いを向けることが欠落しているからだとはいえないでしょうか？言い換えると、自分の思いや情熱が中心になってしまっているということです。

これこそが「互いに人として尊重し合う」ことが置き去りにされているパートナーシップであり、健全なパートナーシップとは言えないものです。自分の思いや情熱だけが尊重されている状態です。

では、どうすれば良いのでしょうか？

相手に対して、あまり心地の良いことではないことを話す場合、前もって相手の「許可を取るスキル」を使うことです。

そうすると、相手が話を聞ける準備ができるので、双方の心理的負担が少なくなります。もちろん相手は、NOとも言えます。

また、許可を取ってから話すことで、相手は自分が尊重されていると感じます。まさに、「人として尊重」されたこととなります。

たとえば「これはあなたにとって耳が痛いことかもしれませんが、あえて私を感じたことをお伝えしてもいいでしょうか？」という感じで話すことです。そのポイントは、断定的に伝えないで疑問形(?)にして相手に選択肢を委ねることです。



Keishi Fujii
Grow Life

今日、あなたが「健全なパートナーシップを築きたい！」と願っているパートナーに、このスキルを使ってみませんか？フリップジャパンでは、互いを「人」として「敬い、尊重する」関係づくりを推進していきたいと願っています。またお会いしましょう。

flip English 英語教室



MICROSCOPE

ENGLISH SCIENCE CAMP OCTOBER 19-20 2019

小学4-6年生

¥9,000/一人

定員24人

場所：関西学院千刈キャンパス

情報 & 申込先



Let's have fun learning together!

Summer Vacation is here!

英語教室 will begin again

September 3-5!

Have a great summer!